学校番号	1302

令和８年度　（学）マリンライフ科

教科	（学）ﾏﾘﾝﾗｲﾌ	科目	（学）水産課題研究	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

大阪湾に面した地域性を活かして、水産に関する課題を与え、その課題に対し自発的に考え行動し、解決に導く能力を身につける。また、準備、実践、後かたづけなどすべての活動に積極艇に参加しましょう。新しい自己の発見をめざすと共に、地域や社会に積極的に寄与することを意識しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・養殖や栽培、捕獲に関する知識と技術を身につける。
・記録や測定に関する知識と技術を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
・小中学生への指導も視野に入れ、学びを充実する。
・報告書（レポート）にまとめ、発表する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・学習活動に適した身だしなみや態度を育成し、社会性を育む。
・集団の規律を守り、協調性を養う。
・発展的な課題に積極的に取り組む姿勢を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・養殖や漁業体験等の実習を通して水産資源に関する技術や知識を習得する。	・海洋生物調査や自然観察において、情報機器やウェアラブル端末を活用し、分析力や表現力を養う。	・地元の漁業組合や観光協会等と協働し、地域の資源に新たな付加価値を生み出す（６次産業化）面白さを実感するとともに、地域産業の活性化について学ばせ、将来の進路選択につなげる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
	トラフグやワカメの養殖	府立水産技術センター､などの機関との協力により、トラフグや海藻類の養殖を体験し､栽培漁業の基礎を知る。	a:養殖や飼育等の施設見学実習を通して水産資源に関する技術や知識を習得する。 b:生育観察とその結果をまとめる手法を身に着ける。 c:漁業組合や観光協会等と協働し､地域の資源に新たな付加価値を生み出す面白さを実感するとともに､地域産業の活性化について考える。	ワークシート 取り組む態度	取り組む態度	取り組む態度 レポート
	干潟観察	生物の観察を通して､その生物の食性や特徴などを調べる手法を学ぶ	a:水産資源に関する知識、自然環境に関する知識を習得する｡調べ学習の手法を習得する。 b:海洋生物の捕獲や養殖を通して、観察力や計画力を養う。 c:大阪湾生き物一斉調査などに参加し、結果をまとめ、発表する	ワークシート 取り組む態度	取り組む態度	取り組む態度 レポート
	アマモ場の再生活動	小学生への出前授業を実施し､小学生とともに豊かな大阪湾について活動をする。	a:小学生への授業内容を検討する。 b:授業の準備とその手法の工夫を検討する。 c:小学生への授業担当役割を実践し、社会貢献活動を高める。	ワークシート 取り組む態度	取り組む態度	取り組む態度 レポート
	海草類の調査研究	大阪湾では希少な海草の生育場所の調査、生態の研究をする。	a:生育場所の調査を行い、生態循環を学ぶ。 b:調査などをとおし、その生態を考察し、生態の解明をしていく。 c:結果をまとめ、発表する。	ワークシート 取り組む態度	取り組む態度	取り組む態度 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度